

## 2016年春登場の新アトラクション 佐藤琢磨選手の開発プロジェクト参画が決定

F1や鈴鹿8耐などで、数々のドラマが生まれた鈴鹿サーキット国際レーシングコースを、唯一自らの運転で走ることができる「サーキットカート」が、2016年春に生まれ変わります。この新たなアトラクションの開発プロジェクトに、鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS)出身であり、レーシングドライバーの佐藤琢磨選手が参画することが決定いたしました。



※イメージ

新世代のモビリティや、モータースポーツの魅力を体感できる、さまざまな仕掛けや先端技術を搭載し“ホンモノの世界”、“ホンモノの走り”を味わえ、お子さまから大人まで自らの運転で国際レーシングコースを走ることができる新アトラクションが登場します。佐藤琢磨選手のレーシングドライバー視点でのアドバイスをいただき、より“ホンモノ”を味わえるアトラクション開発を実施します。



佐藤琢磨 レーシングドライバー（インディカー・シリーズ A.J.フォイト・レーシング）

1977年、東京都生まれ。高校時代から自転車競技を始め、インターハイ、全日本学生選手権で優勝。自転車競技から一転、1996年にレーシングカートデビュー。1997年、鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS)首席で卒業。SRS-Fスカラシップを獲得してイギリスF3へ挑戦。2001年日本人初のシリーズ総合優勝を果たし、翌年F1デビュー。2004年にはアメリカグランプリにて、表彰台に上がる快挙を成し遂げる。

2010年からは北米のインディカー・シリーズに参戦。2013年には、第3戦ロングビーチにて悲願の初優勝を遂げる。この勝利はアジア人ドライバーとしても史上初のものとなり、更に世界最高峰のレースと言われるF1とインディ両方の表彰台に上がった経験のある唯一の日本人ドライバー。2015年はA.J.フォイト・レーシングよりインディカー・シリーズに参戦中。第8戦デトロイトにて2位表彰台を獲得。

佐藤琢磨選手コメント：

『このたび、開発プロジェクトのメンバーに加わることになり、とても光栄に思っています。鈴鹿サーキット国際レーシングコースは、僕にとってとても思い入れのあるコースです。そのコースで、子どもから大人まで、ひとりでも多くの方に、「ホンモノの走り」に、楽しくチャレンジして頂けるよう、レーシングドライバーとして、そして親としての視点でしっかりアイデアを提供していきたいと思っています。是非、ご期待ください。』